

こんにちは。最近急に暖くなり、寒暖差が激しい日もありますが、皆さんどうお過ごしでしょうか。こちらは葉桜やチューリップの花をいたるところで見かけ、本格的な春を感じています。最近私は、次世代リーダー育成道場からの課題であるゼミナール研究、ターム終わりの中間レポートに向けた課題の締切日、音楽祭に参加するためのスクールバンドトリップ、最近参加するようになったオーケストラとバンドの練習など、忙しいに忙しいが重なり、とても目まぐるしい日々を過ごしています。

さて、もう4月中旬ですが、3月にあった出来事について書こうと思います。3月は春休みとイースター休みがありました。春休みは日本より少し早く始まりましたが、日本と同じく2週間でした。私はホストファミリーと、ホストマザーの息子さん夫婦と一緒にトフィーノへ3泊4日で行きました。トフィーノはバンクーバー島の太平洋側位置するリゾート地で、サーフィンができることや海が綺麗な場所として有名です。私はサーフィンをすることはできなかったのですが、スペイン出身で10日間だけ私のホームステイに滞在したホストシスターがサーフィンを楽しんでいました。夜はみんなで英語を使ったゲームや、パズル、サイコロなどのゲームで盛り上がりました。久しぶりに太平洋を見て、ホストシスターと富士山が見えるかもねと盛り上がり、とても楽しい春休みを過ごすことができました。

また、春休みが終わって1週間後にはイースター休日という休日があり、ホストファミリーと豪華なご馳走を食べました。スーパーにはウサギや卵の形をしたチョコレートがずらりと並び、新しくきた中国出身のホストシスターとチョコレートエッグハンティングをしました。私も新しいホストシスターもイースターは初めてだったので、なぜイースターをお祝いするのかホストファミリーに聞いたところ、あまりわからないと言われてしまいました。調べたところ、キリスト教の中で、イエス・キリストが復活した日をお祝いし、卵とウサギは繁栄と生命力の象徴として飾るそうです。中国では復活祭として知られているものの、日本と同じくあまり祝うということはしないそうです。個人的には、休日になっていることに対して少し驚きました。

さらに、3月は休みが多かったため、新しいことに挑戦しようと思い、地域の中級者、上級者向けの本格的なバンドに参加できないかコンタクトを取りました。すると、とんとん拍子で話が進み、バンドだけでなく地域のオーケストラにも次のコンサートのホルンパートに空きがあるということで、参加することになりました。ずっと学校のスクールバンドだけで活動してきたので、久しぶりに本格的な音楽活動ができてとても嬉しいのと同時に、練習が月曜日と木曜日の夜なので、とても忙しくなりました。特に、オーケストラでは、ベートーベンなど、クラシックを演奏していて、初めて読むDやEといった移調譜（音を頭の中でホルンの音階に変えて読まないといけない楽譜）もたくさんあるため、とても難しいです。しかし、元プロホルン奏者だった方や、音楽教師の方など、いろいろな経験を持つホルン奏者さんと演奏ができて、演奏のポイントを教えてもらえるので、面白いです。やはり、音楽は世界共通言語だなと感じます。

いつの間にか帰国まで残り3ヶ月を切りました。最近は帰国までの日数を指折り数えています。もう4月下旬に差し掛かり、今月は3月よりさらに忙しく、たくさん音楽活動をした月でしたが、その分時間が進むのは早いと感じます。残りの留学生活もあっという間だったなと思えるくらい、充実したものにしたいと思います。



↑トフィーノの写真

トフィーノは太平洋側であるため、日本と同じく津波が起きることがあるそうです。



←イースターの夕食

夕食は大きなハムとポテト、キャベツ等でした。デザートにホストマザーと一緒にレモンメレンゲパイを作りました。